

#### ・(4-1) 文化振興課所管事業

1. 文化財総務費
2. 野々市市郷土資料館管理、ふるさと歴史館管理
3. 指定文化財管理
4. 富樫氏関係事業
5. 埋蔵文化財分布調査、民間開発に伴う緊急発掘事業
6. 北西部土地区画整理事業・北西部公園整備に伴う発掘調査
7. 文化財普及啓発事業
8. 御経塚遺跡重要文化財指定及び出土品復元事業
9. 文化財保存修理事業
10. 緊急雇用・デジタル資料館事業
11. 文化振興総務費（文化団体助成事業）
12. 市美術展
13. 椿まつり事業
14. 文化会館管理・情報文化振興財団
15. 芸術鑑賞事業
16. 埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4401	事務又は事業の名称	文化財総務費			所管	部	教育文化部
						課	文化振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	1 一人ひとりが担い手のまち【市民生活】 2 ふるさと意識の醸成と愛着心の向上		重点プロジェクトI/II 関連施策	区分	自治事務		
		1 伝統行事の後継者育成				ソフト事業		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					単独事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第190条 野々市市文化財保護条例14条					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が文化財保護審議会、富樫頌徳会		事業の目的	文化財関係団体の活動促進				
事業の内容	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成		平成24年度 活動実績	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会の活動助成				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	市指定無形文化財の件数	件	4	1	1	1	
事業のコスト	事業内 費	区分	H23	H24	H25予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	1,000	0	0			
		一般財源 (千円)	3,108	2,201	2,381			
		事業費計 (A) (千円)	4,108	2,201	2,381			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会への活動助成	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会への活動助成	・文化財保護審議会の開催 ・富樫氏頌徳会への活動助成

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	理由	市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の指定を行っていく。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等) 無形文化財の指定に向けて調査手法を検討中。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4402・4407	事務又は事業の名称	野々市市郷土資料館管理 ふるさと歴史館管理			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			重点プロジェクト I 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業	単独事業
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	** 年度
					終了予定		** 年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市郷土資料館条例第3条 野々市市ふるさと歴史館条例第4条				
	事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	市内の歴史や文化財に関する資料を展示し歴史に対する理解を深め、住民の生涯学習の機会を提供する。				
事業の内容	郷土資料館とふるさと歴史館において、市内の歴史や文化財に関する資料を展示するとともに、指定管理者である市公共施設管理事業団へ委託し、施設の管理運営を行う。	平成24年度活動実績	・郷土資料館の管理・運営(市公共施設管理事業団へ委託) ・ふるさと歴史館の管理・運営(市公共施設管理事業団へ委託)					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	開館日数	日	—	303	305	305	
		来館者数	人	—	6,161	6,180	6,500	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	13,822	10,608	0			
事業費計 (A) (千円)	13,822	10,608	0					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	×	×	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成25年度からは文化財施設管理事業として郷土資料館管理とふるさと歴史館管理を統合し、事務の簡素化を図る。よって、本事業は継続する。
	C	F			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	事務の簡素化を図るが、管理業務は現状のまま維持していく。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4404	事務又は事業の名称	指定文化財管理			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			重点プロジェクトI 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	** 年度
					終了予定		** 年度	
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	野々市市文化財保護条例第8条、第13条				
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	市指定文化財の保存・管理とその活用である。				
事業の内容	市指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、消毒を行い、管理の万全を図る。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。		平成24年度 活動実績	農事社跡、住吉の宮、富樫館跡石碑、徹通和尚茶毘の墓の清掃(町内会等に清掃を依頼) 市史跡富樫館跡、市史跡農事社跡の樹木の剪定(シルバー委託) 農事社跡樹木消毒(シルバー委託) 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	管理・助成する市指定文化財数	件	—	6	6	6	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	365	365	815			
		事業費計 (A) (千円)	365	365	815			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。史跡については、存在地の町内会等に維持管理を依頼しており、市民による文化財管理への参加は、地元の文化財への愛着を深めるためにもも意義である。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	現状のまま維持していく。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4405	事務又は事業の名称	富樫氏関係事業			所管	部	教育文化部	
						課	文化振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見			重点プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
					終了予定	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	中世野々市に守護所を置いて加賀国を統治した富樫氏の調査・研究を通じて、市民の郷土への理解と愛着心を育てる。						
事業の内容	全国に分布する富樫氏に関する調査及び研究 (調査は隔年実施)	平成24年度 活動実績	隔年調査により活動なし						
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	富樫史料研究会開催回数	回	8	3	0	6		
		調査報告	回	1	1	0	1		
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	100			0	3,837		
	事業費計 (A) (千円)	100			0	3,837			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	×	→	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	休止	全国の富樫氏に関する調査及び研究	休止

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	富樫氏の調査・研究を通じて市の歴史に理解を深め郷土への理解と愛着心を育てる。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		富樫氏の歴史を市民にわかりやすく知ってもらうために、マンガ本を製作する。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4406・4408	事務又は事業の名称	埋蔵文化財分布調査 民間開発に伴う緊急発掘事業			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見			重点プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93・94・99条					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が開発事業者		事業の目的	開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で埋蔵文化財包蔵地を把握し、事業に先立って発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、郷土の歴史を明らかにする				
事業の内容	小型掘削機による試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。 民間開発により緊急発掘調査が必要となった埋蔵文化財について、現地調査の実施及び出土品整理、報告書刊行を実施する。		平成24年度活動実績	・試掘調査9件 ・リブプライム稲荷宅地造成に係る発掘調査(出土品整理・報告書刊行)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	数値指標設定になじまない。						
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	0		140		2,190	
		一般財源 (千円)	74		106		2,550	
事業費計 (A) (千円)	74		246		4,740			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	オペレーター付での試掘調査突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。	オペレーター付での試掘調査突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。	オペレーター付での試掘調査突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	開発が進む本市においては、今後も埋蔵文化財の状態がわかっていない土地について試掘調査が必要である。職員による小型掘削機の操作は市街化が進む市内においては危険であり、熟練したオペレーターへの変更を要する。 また、緊急の開発事業に対応できる発掘調査体制を充実する必要がある。
	B	B		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	現状の調査方法では、掘削が深い場合や現地が舗装されている場合など、職員が操作可能な掘削機では対応できないことがあり、掘削機をオペレーター付として変更を要する。 開発が進む本市においては今後も緊急の開発事業に対応する必要がある。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4409・4413	事務又は事業の名称	北西部土地区画整理事業・北西部公園整備に伴う発掘調査			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見			重点プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			補助事業			
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93・94・99条			事業の開始・終了年度	
	事業の目的	野々市市が市民・野々市市北西部土地区画整理組合に	事業の目的	緊急発掘調査対象地となった三日市A遺跡・三日市ヒガシタンボ遺跡・二日市イシバチ遺跡・徳用クヤダ遺跡・郷クボタ遺跡の記録保存			事業開始	12
事業の内容	緊急調査対象地となった埋蔵文化財の現地調査の実施及び出土品整理・報告書刊行	平成24年度活動実績	三日市A遺跡 二日市イシバチ遺跡 郷クボタ遺跡 徳用クヤダ遺跡	出土品整理 報告書刊行 現地調査 出土品整理 報告書刊行 出土品整理 出土品整理	終了予定	27	年度	
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	発掘調査面積	m <sup>2</sup>	158,669	151,879	6,790	—	
		報告書刊行	件	19	4	2	2	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	33,230		27,480		8,291	
		一般財源 (千円)	27,369		25,182		8,311	
事業費計 (A) (千円)	60,599		52,662		16,602			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	×
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	・出土品整理 ・報告書刊行	・出土品整理 ・報告書刊行  事業完了	

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	発掘現地調査は終了している。今後は、事業完了までに報告書を刊行するため、開発側と協議のうえ、刊行計画を決定していく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	埋蔵文化財は文化財保護法によって記録保存の措置を講ずることになっており、発掘調査報告書刊行まで実施する必要がある。今後は、事業完了までに開発側と協議し、刊行計画を決定していく。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4410	事務又は事業の名称	文化財普及啓発事業			所管	部	教育文化部	
						課	文化振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			重点プロジェクトI 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
				終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法 第4条						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	公共の財産である文化財について、様々なイベントを通じて広く周知を図り、そのうえで、地域の歴史に対する理解を深める。					
事業の内容	土器作りや勾玉作りなどを、当時の技法で製作体験する。 市内に残る歴史資料や、発掘調査で得た出土品などをふるさと歴史館、郷土資料館、文化会館フォルテ等で展示・公開する。 発掘調査現場を公開し、調査の成果を解説する。		平成24年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休み古代体験2012</li> <li>郷土資料館企画展「近世・近代の野々市の人物」</li> <li>再発見！！野々市の歴史まちあるき</li> <li>文化財秋季展「遺跡からみた粟田のあゆみ」</li> <li>二日市イシバチ遺跡現地説明会</li> </ul>					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	古代体験学習参加者		人	700	551	387	450	
		企画展・秋季展等入場者数		人	2,000	1,928	2,418	2,500	
事業のコスト	事業内訳	区分		H23	H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)	101		108		95		
		一般財源 (千円)	2,288		528		485		
事業費計 (A) (千円)	2,389		636		580				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	ふるさと歴史館での古代体験 ふるさと歴史館・郷土資料館等での特別展示(考古・民俗資料等) 歴史まちあるき(市内歴史散策) 有識者による歴史講演会	ふるさと歴史館での古代体験 ふるさと歴史館・郷土資料館等での特別展示(考古・民俗資料等) 歴史まちあるき(市内歴史散策) 有識者による歴史講演会	ふるさと歴史館での古代体験 ふるさと歴史館・郷土資料館等での特別展示(考古・民俗資料等) 歴史まちあるき(市内歴史散策) 有識者による歴史講演会	ふるさと歴史館での古代体験 ふるさと歴史館・郷土資料館等での特別展示(考古・民俗資料等) 歴史まちあるき(市内歴史散策) 有識者による歴史講演会

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由 平成24年度事業では、民家の特別公開や地区公民館での出張展示など、従来より使用していた施設以外の箇所でも文化財の展示・公開を行ってきたことで、参加者数は増加した。 今後も事業のテーマや内容などの見直しを図り、マンネリ化を防ぐ工夫をして、市民に文化財の関心をより高めてもらうよう努めていきたい。
	A	B		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		事業のテーマや内容などは随時見直しを図り、マンネリ化を防ぐ工夫をして、市民に文化財の関心をより高めてもらい、参加者数を増やしていきたい。	



平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4411	事務又は事業の名称	御経塚遺跡重要文化財出土品復元事業			所管	部	教育文化部
						課	文化振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			重点プロジェクト I 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	23 年度
					終了予定		33 年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法31条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産を展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。				
事業の内容	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,219点について、展示及び保存・管理の万全を期すため、収蔵整理・展示作業を実施した。また、土器・土製品542点のうち257点について、破損防止のため詳細な復元作業(保存修理)を文化庁の指導をもとに順次行う。		平成24年度活動実績	①土器39点について詳細復元を実施(うち19点は23年度からの繰越分) 16,221千円(うち繰越額8,053千円) ②指定品の収蔵整理・展示作業を実施 213千円				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	重要文化財指定の土器・土製品保存修理点数	点	257		39	15	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)	18	7,982		4,000		
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	308	8,452		4,392		
事業費計 (A) (千円)	326	16,434		8,392				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	指定品の収蔵展示作業と土器22点の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と土器23点の詳細復元作業を実施	指定品の収蔵展示作業と土器24点の詳細復元作業を実施

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	理由	重要文化財御経塚遺跡出土品の所有者である市は、保存・管理の責務を永久に有する。詳細復元による品質の向上は重要文化財の価値をより一層高めるとともに、市民が誇れるふるさとの文化財としてふさわしいものとなる。
	C	C		
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		現状のまま維持していく。	

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4412	事務又は事業の名称	文化財保存修理事業			所管	部	教育文化部	
						課	文化振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見			重点プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			補助事業				
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法113・115・116条			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施と、市内文化財の案内看板の設置は、市民に文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産による野々市ブランドの確立と市内外に誇れるまちづくりを目指すものである。				
事業の内容	末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史跡の再整備を実施する。御経塚遺跡については、平成23・24年度に整備遺構の修理事業を実施し、今後は再整備計画を検討する。これらの事業については、組織する整備委員会によって方針を策定し実行する。市内の各文化財については、案内看板の設置を進める。		平成24年度 活動実績	史跡御経塚遺跡の平面復元遺構の修理工事及び、遺跡公園地内の外灯塗装工事を実施した。市遺跡整備委員会準備会を開催し、末松廃寺跡再整備の基本方針を検討した。富樫館跡発掘用地の案内看板を更新した。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	末松廃寺 発掘調査・再整備の進捗	%	100	0	10	20		
		文化財案内看板の設置数	基	36	7	1	1		
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)	2,839		1,400				
		県支出金 (千円)			700				
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)							
		一般財源 (千円)	3,293		1,389		724		
事業費計 (A) (千円)	6,132		3,489		724				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	整備委員の意見を基に末松廃寺跡の発掘調査(1,100㎡分)と、塔心礎の保存修理を実施する。市内文化財案内看板を、本町地区に7基設置する。	整備委員の意見を基に末松廃寺跡の発掘調査(1,100㎡分)を継続実施する。市内文化財案内看板を、本町地区に3基設置する。	整備委員の意見を基に末松廃寺跡の発掘調査(1,200㎡分)を継続実施する。市内文化財案内看板を、横宮町・扇が丘地内に3基設置する。	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成23・24年度は史跡御経塚遺跡の上屋復元住居及び平面復元遺構の修理工事を実施した。平成25年度は市遺跡整備委員会を立ち上げて、末松廃寺跡の調査を本格的に着手していき、その成果を基に魅力ある再整備を目指す。文化財案内看板については、市内各地に随時設置していく。
	A	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	市遺跡整備委員会を立ち上げ、末松廃寺跡の指定地内における発掘調査と再整備の計画案を策定・実施していく。文化財案内看板を、市内各地に随時設置していく。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4414	事務又は事業の名称	緊急雇用・デジタル資料館事業			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			重点プロジェクト I 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業	補助事業
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度			
					事業開始	**	年度	
					終了予定	**	年度	
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に	事業の目的	電子データ化した野々市市の埋蔵文化財・民俗資料・歴史史料等を、市のホームページ上に開設するデジタル資料館において広く一般に公開する。					
事業の内容	市のホームページにデジタル資料館を開設し、市が作成した文化財関係の電子データを分野別に順次紹介していくものである。	平成24年度 活動実績	①野々市デジタル資料館の開設 ②重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」4,219点のうち代表的なもの875点を紹介している。					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	デジタル資料館へのアクセス数	人/年	1,500			1,000	
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23	H24	H25予算			
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)		1,680		2,048		
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)						
事業費計 (A) (千円)	0	1,680	2,048					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	×
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	電子データ化した、くらしの道具(民具・農具など)4000点のうち約1,000点のコンテンツを作成し紹介する。	電子データ化した、くらしの道具(民具・農具など)4000点のうち約1,000点のコンテンツを作成し紹介する。		

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	市の文化財などをホームページにてわかりやすく発信・紹介していくことが、現在のインターネット社会では求められている。
		C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	市民にわかりやすいホームページを作成していく。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4415	事務又は事業の名称	文化振興総務費(文化団体助成事業)			所管	部	教育文化部
						課	文化振興課	
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			重点プロジェクトI 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業	
	行政改革推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進				事業の開始・終了年度		
						事業開始	昭和56	年度
						終了予定	**	年度
実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし					
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が、市文化協会、ジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体、一般市民に		事業の目的	「芸術文化の香り高いまち」づくりを推進するため、市文化協会及びその加盟団体、ジュニア文化・芸術サークルの活動を支援し、自主的な運営を促す。また、じょんから踊りの普及や郷土芸能伝承保存を進める。				
事業の内容	市文化協会及びジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体への活動助成		平成24年度活動実績	市文化協会への助成及び自主運営へ向けての意識の高揚 ジュニア文化・芸術サークルへの助成(4団体) 郷土芸能伝承団体への助成(24団体) じょんから踊り講習会の開催(各公民館、文化会館)延べ5回				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	踊り講習会受講者数	人	280	149	173	200	
		市文化協会加盟団体数	団体	18	16	16	16	
事業のコスト	事業費	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金(千円)						
		県支出金(千円)						
		地方債(千円)						
		その他(千円)						
		一般財源(千円)	2,235	3,723	4,151			
事業費計(A)(千円)	2,235	3,723	4,151					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	市文化協会の事務担当者の自立と定着 踊り講習会の継続的な開催 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援	市文化協会の自主運営に対する指導、助言 踊り講習会の継続的な開催 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援	市文化協会の自主運営に対する指導、助言 踊り講習会の継続的な開催 ジュニア文化・芸術サークルの広報支援

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	文化協会事務担当者の育成はまだその途についたばかりである。一部のジュニア文化・芸術サークルの会員が年々減少傾向にあるため、伝統文化の継承を図るためにも何らかの方策を講じなければならない。
	B	B			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)	文化協会の事務担当者の育成と、協会員が中心となった運営を目指す。市内の企業や大学などにじょんから踊り講習会を広く周知し、参加人数の増加を図る。各種行事や事業の折に、ジュニア文化・芸術サークルを紹介するチラシ等を配布する。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4416	事務又は事業の名称	市美術展			所管	部	教育文化部	
						課	文化振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			重点プロジェクト I 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	08 各種団体の自主的運営の促進			事業の開始・終了年度				
					事業開始	昭和57	年度		
					終了予定	**	年度		
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし						
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民(市内に在住・通勤・通学している人、市内の絵画教室・サークルに通っている人)に		事業の目的	市民の美術活動の振興とその鑑賞の機会を設け、芸術文化の高揚を図る。					
事業の内容	美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品受賞者への表彰式を行う。		平成24年度 活動実績	作品の搬入:6月28日～30日 作品数:計174点 展示期間:7月9日～16日 表彰式:7月16日 受賞作品数:47点 作品の返却:7月16日～					
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込		
	成果指標	美術展作品数	点	150	137	174	185		
事業のコスト	事業内訳 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0	0			
		その他 (千円)	24	35	40				
		一般財源 (千円)	530	561	524				
	事業費計 (A) (千円)	554	596	564					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品数の増加を図る。</li> <li>・より多くの市民に地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近な地域イベントであることを周知するよう努める。</li> <li>・展示方法など検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品数の増加を図る。</li> <li>・より多くの市民に地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近な地域イベントであることを周知するよう努める。</li> <li>・展示方法など検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品数の増加を図る。</li> <li>・より多くの市民に地域の貴重な芸術文化が鑑賞できる身近な地域イベントであることを周知するよう努める。</li> <li>・展示方法など検討していく。</li> </ul>	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	一般市民の中には、市美術展への出品は少々ハードルの高いものだと感じる人があり、より多くの市民に美術展への出品、美術作品の鑑賞を促す必要がある。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	出品するには少々ハードルが高く感じる人があり、一方で重要無形文化財保持者の作品が展示されることで市内の芸術文化への関心が高まっているのも見られる。より多くの鑑賞者を動員し、一般市民からの出品を増加させていくことが必要である。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4417	事務又は事業の名称	椿まつり事業			所管	部	教育文化部
						課	文化振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			重点プロジェクトI 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業	
	行政改革 推進項目	00 該当なし				事業の開始・終了年度		
						事業開始	平成元	年度
					終了予定	**	年度	
事業の概要	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市、市民が市民に		事業の目的	愛と和の市民憲章に謳われている「郷土を愛し緑豊かな住みよいまち」づくりを推進するため、市花木に指定されている「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある環境の創出に寄与する。			
	事業の内容	アート・オブ・ツバキ(椿を題材にした作品展示)、椿オリジナルステージ、折り紙コーナー、お茶席、花と緑の市、特産物市、つばき食堂、囲碁・将棋コーナーなどの運営及びそれら全般に関わる実行委員会等の開催		平成24年度 活動実績	実行委員会等の開催(年7回) 近隣事業所、関係者へのポスター・リーフレット配布による周知の強化 椿まつりの準備、運営			
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	椿まつり来場者数	人	7,000	9,000	8,200	9,000	
		動員職員数	人	40	55	40	30	
事業のコスト	事業内 費	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)						
		一般財源 (千円)	4,235		4,100		4,400	
事業費計 (A) (千円)	4,235		4,100		4,400			

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	↗	↗
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	より多くの市民の協力を得ることにより市民協働の催事内容を検討 まつりの運営を外部委託する可能性を検討	全国椿サミット野々市大会のプレ大会としてサミット実行委員会とも協力しながらより良い内容となるよう検討する。	全国椿サミット野々市大会の開催年としてサミット実行委員会と協調し、記念大会として開催

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	平成29年3月に開催予定の全国椿サミット野々市大会に向けて、本市の魅力を外内に広くアピールするための方策の検討が必要
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)	野々市市を代表する春のまつりとして定着しており、市民の期待度も高い。 全国椿サミット野々市大会に向けて、実行委員会と協力して多くの市民の協力を得ながら機運を高めていく工夫が必要である。			

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4418・4420	事務又は事業の名称	文化会館管理・情報文化振興財団			所管	部	教育文化部	
						課		文化振興課	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			重点プロジェクト I 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始 昭和62・平成16 年度		
					終了予定		** 年度		
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし	根拠法令	文化芸術振興基本法 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律					
事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	芸術・文化の中心施設として浸透している文化会館 フォルテの維持 市民の教養向上と芸術文化の振興を図り、豊かで潤 いのある住民福祉の向上に寄与する。					
事業の内容	文化会館及びその駐車場の用地に対する借地料の支 払い 指定管理者である(公財)情報文化振興財団が実施す る文化会館フォルテ及び情報交流館カメリアの管理委 託と、同じく管理運営及び財団の自主事業に対する補 助		平成24年度 活動実績	借地料の支払い 用地交渉 施設の管理委託 管理運営と財団が行う自主事業に対する補助					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	文化会館フォルテ来館者数		人	160,000	95,474	102,222	110,000	
		情報交流館カメリア利用者数		人	75,000	61,294	61,297	70,000	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分		H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)							
		県支出金 (千円)							
		地方債 (千円)							
		その他 (千円)	372		372		372		
		一般財源 (千円)	79,607		77,012		176,461		
		事業費計 (A) (千円)	79,979		77,384		176,833		

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	段階的に用地の公有化を目指 す。 市民を中心とした新しい文化の創 造と振興を図る。	段階的に用地の公有化を目指 す。 市民を中心とした新しい文化の創 造と振興を図る。	段階的に用地の公有化を目指 す。 市民を中心とした新しい文化の創 造と振興を図る。

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	文化会館フォルテと情報交流館カメリアは、ともに野々市市における芸術文化と情報 発信の中心施設として定着している。 将来的な財政負担を軽減するために、段階的に借地の公有化を進めていく必要があ る。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		カメリアにおいて、交流サロンを含めた施設全体の更なる活用と、各種実施している事業の周知、浸透を図る方策を 検討しなければならない。		

平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4419	事務又は事業の名称	芸術鑑賞事業			所管	部	教育文化部	
						課	文化振興課		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			重点プロジェクトI 関連施策	区分	自治事務		
	教育振興基本計画 施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度				
					事業開始	**	年度		
				終了予定	**	年度			
実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	該当なし					
事業の対象 (誰が・誰に)	石川県、開催市町教育委員会、石川県芸術鑑賞推進委員会が市内小学5年生及び市内2中学校		事業の目的	子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る。					
事業の内容	1. オーケストラ鑑賞教室 オーケストラ・アンサンブル金沢による公演 2. スクールシアター 児童演劇協会が選出する劇団による公演 3. 古典芸能鑑賞教室 県内で活躍する邦楽家による公演		平成24年度 活動実績	1. オーケストラ鑑賞教室 日程:6月12日、14時開演 対象:布水中学校(対象校は野々市中学校と隔年交代) 2. スクールシアター 日程:6月13日、13時30分開演 対象:市内小学5年生 3. 古典芸能鑑賞教室(希望提出なし)					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	芸術文化に接する機会		回	3	2	2	3	
事業のコスト	事業内 財源内訳	区分	H23		H24		H25予算		
		国庫支出金 (千円)	0	0	0	0			
		県支出金 (千円)	0	0	0	0			
		地方債 (千円)	0	0	0	0			
		その他 (千円)	0	0	0	0			
		一般財源 (千円)	925	971	986				
	事業費計 (A) (千円)	925	971	986					

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	↗	→	→
実施計画 (今後3箇年の活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>西洋音楽及び日本伝統の音楽両方を鑑賞する機会を設ける。</li> <li>事業内容を検討する。</li> <li>市内小学5年生、市内2中学校が毎年鑑賞できるような形態をとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が毎年芸術鑑賞できる機会を設ける。</li> <li>児童生徒たちへ意識づけできるような事業内容を検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が毎年芸術鑑賞できる機会を設ける。</li> <li>児童生徒たちへ意識づけできるような事業内容を検討していく。</li> </ul>	

自己評価

自己評価	前年度 自己評価	今後の 方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	西洋音楽及び日本伝統音楽両方を鑑賞する機会を設けることが必要であるが、興味のあるものとうでないものとは演奏会に臨む姿勢が違ってくる。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		様々なジャンルの音楽に触れる機会が必要であるが、演奏会の内容を児童生徒たちにとってわかりやすく興味を持つようなものに工夫していく必要がある。		



平成25年度 教育委員会事務の点検・評価表(平成24年度実施事業分)

行政評価

整理番号	4421・4422	事務又は事業の名称	埋蔵文化財整理事業・二日市地内歩道整備に伴う緊急発掘調査			所管	部	教育文化部
						課		文化振興課
事業の概要	総合計画該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見			重点プロジェクトⅠ/Ⅱ/Ⅲ 関連施策	区分	自治事務	
	教育振興基本計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業	
	行政改革推進項目	00 該当なし			事業の開始・終了年度		事業開始	** 年度
					終了予定		** 年度	
	実施根拠となる分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第94・99条				
事業の対象(誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	野々市市が開発原因者となる発掘調査の出土品整理・報告書を刊行し、地域の歴史を解明する。 二日市地内歩道整備の埋蔵文化財の発掘調査を実施して、円滑な整備事業に資する。				
事業の内容	野々市市が調査原因者となる埋蔵文化財の現地調査及び出土品整理・報告書刊行 ・二日市歩道整備調査 ・市が調査原因となる調査		平成24年度活動実績	出土品整理・報告書刊行(三納トヘイダゴシ遺跡・新庁舎建設)				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	H23	H24	H25見込	
	成果指標	発掘調査面積	m <sup>2</sup>	450	0	0	350	
		報告書刊行	冊	1	0	1	0	
事業のコスト	事業内訳	区分	H23		H24		H25予算	
		国庫支出金 (千円)						
		県支出金 (千円)						
		地方債 (千円)						
		その他 (千円)	440	0		1,650		
		一般財源 (千円)	410	704		1,370		
事業費計 (A) (千円)	850	704		3,020				

実施計画

年度計画	区分	H26計画	H27計画	H28計画
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画(今後3箇年の活動内容)	・出土品整理 報告書刊行(二日市歩道)	・出土品整理 報告書刊行	・出土品整理・報告書刊行(粟田遺跡・富奥防災コミュニティーセンター 末松A遺跡・ふるさと農道)

自己評価

自己評価	前年度自己評価	今後の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 廃止・統合予定 F 終了・完了	理由	埋蔵文化財に影響を及ぼす開発事業については、文化財保護法によって記録保存の措置を講ずることになっており、報告書刊行まで実施する必要がある。
	C	C			
改善点	今後の改善事項(ニーズ・課題等)		現状のまま維持していく。		

#### ・(4-2) 学識経験者からの意見

文化振興については、芸術・美術を鑑賞することによって市民の心の豊かさや優しさを育むとともに、伝統文化の保存・伝承にもつながることから、その機会を多くしていただきたいと思います。また、小中学生などの感性の豊かな世代が、伝統芸能や舞台芸術に触れることはとても大切なことであり、鑑賞の機会を多く持てるような工夫が必要です。

文化財においては、より多くの市民に文化財や市の歴史について知ってもらう必要があることから、市内の各文化財についての広報活動をこれまで以上に推進していただきたいと思います。

また、文化財の活用については、公民館事業との連携、地域のコミュニティ施設の利用など、市民が地域の歴史を身近に感じとることができるような工夫を要望します。

#### ・(4-3) 今後の方針

##### 【文化振興関係】

- ① 優れた文化や舞台芸術に、日常的に触れる場や機会の拡充に努めます。
- ② 文化関係団体を支援すると共に自主的な運営を促し、市民が文化に親しみやすい環境づくりに努めます。
- ③ 市民協働により、若い世代が芸術・美術にふれることのできる機会の拡充に努めます。
- ④ 地域に伝わる郷土芸能や伝統芸能の保存伝承に努めます。

##### 【文化財関係】

- ⑤ 歴史まちあるき事業や古代体験学習、文化財企画展など、郷土愛を深める事業を充実し、また、公民館などのコミュニティ施設を利用して、市民が地元の文化遺産に対する意識を高めることに努めます。
- ⑥ 史跡末松廃寺跡の再整備に向けて、調査と整備方針の検討を進めてまいります。
- ⑦ 富樫氏のマンガ本については、子どもたちにもわかりやすい内容にし、学校や図書館などにも設置して、有効的な活用を図ります。
- ⑧ 市内の各文化財について案内・説明板の設置を進めます。
- ⑨ 郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。
- ⑩ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実を図ります。
- ⑪ 各種文化財の調査・収集・研究を推進します。
- ⑫ 保存する文化財資料を電子データ化し、市のホームページでの公開・活用を図ります。